

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都市会議員 です！

発行：2023年10月22日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



「京都市政を語る会」に福山弁護士

「暮らしとなりわいを全力応援」「市民の声で京都をリニューアル」



民主市政の会 醍醐・桃山南連絡会は、パセオダイゴロー会議室をお借りして、「京都市政を語る会」を開きました。来年2月の京都市長選挙に立候補を表明されている福山弁護士に来ていただいて、住民の声を聴いていただきました。100人を超える方が参加され、椅子が足らず多くの方に立っていただかなければならず、申し訳ない状況でした。多くの方から様々な声が出され、時間をオーバーする盛り上がりでした。「敬老乗車証制度をもとに戻してほしい」「市営住宅の家賃減免制度をもとに戻して」

「東部クリーンセンターの跡地は子どもが自由に遊べる公園に」「民間保育園の補助金をもとに戻して」「全員制の中学校給食と同時に小学校給食をアレルギー対応に」等等生活に根差した切実な声ばかりでした。一つ一つの声に福山弁護士は丁寧に答えられました。最後に主催者から「突然ですが」と「今日ご参加の皆さん全員の合意で、福山弁護士を市長に推薦したいのですがいかがですか」と提案があり、大きな拍手で確認されました。



9月市会局別質疑西野市議の質問--みなさんの声を直接届け、議会で徹底追及!!

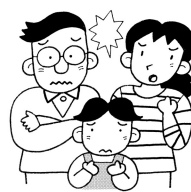
市長総括質疑

市長に対し、「コロナ禍という大惨事の中、苦しんでいる市民を救うのではなく、「500億円の財源不足」とキャンペーンを張り、市民に負担を押し付けたことは、地方自治体のすることではない。地方自治体というのは住民の福祉の増進が目的のはず。行財政改革計画で市民に押し付けた53億円の負担増を撤回すべき」と質しました。また、「財源不足というのなら、他の多くの政令市で実施している、大企業などへの限度額までの課税をすべき。」と求めました。そして、「民間にできることは民間に」と京都市が本来しなければならないことまで民間に丸投げし、市の責任を放棄している。」と指摘し、市政の方向転換を求めました。市長は市民の暮らしを守る姿勢を全く示さず、居直る答弁しかしませんでした。

選挙管理委員会

郵便投票の改善や入院した場合の不在者投票の在り

方の改善を求めました。また、小栗栖宮山学区で選挙公報が配られず放置された問題について、選管の見解を質しました。



環境政策局

北陸新幹線延伸計画について、大量に発生する土砂や地下水への影響、約15年間にわたって土砂を運ぶトラックが約160万台走り回り、排ガスをまき散らせば2050年CO2ゼロをめざす京都市の温暖化対策条例の足を引っ張る。財政にも大きな負担になる。計画の中止を求めました。

保健福祉局

生活保護行政について、ケースワーカーの研修について、社会福祉主事をもっていない職員が残されている。研修の時間保障と、人権研修にも重点を置くことと、一人一人に丁寧に向き合うためには職員が少なすぎる。職員の増員を求めました。



民主市政の会は、来年2月の市長選挙で立候補を表明されている福山弁護士を招いて、市長選挙を戦うキックオフ大会を開きました。市役所前広場にいったん市民が参加し、市民に冷たい市政から、温かい京都市政を作るために、投票率を向上させ、市民一人ひとりが行動していかうと確認されました。

民主市政の会
キックオフ大会

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!

☎621-6717